

ニカラグア経済(2011年1月・2月)

2011年3月
在ニカラグア日本国大使館

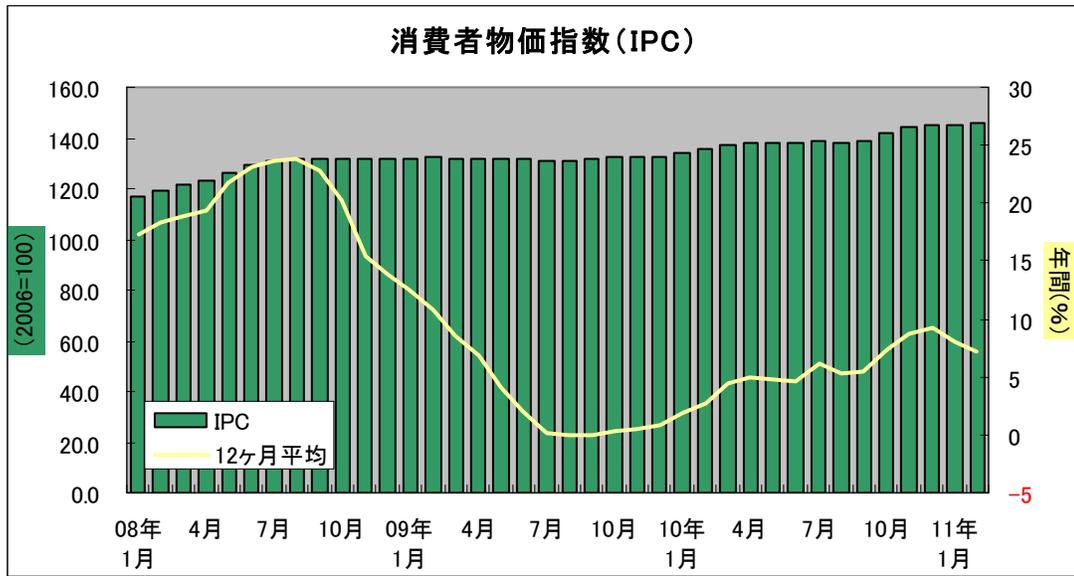
1. 主な出来事

- (1) 1月2日、政府は2010年12月末までの輸出額が前年比31.72%増の1,906.76百万ドルを記録したと発表した。また、1月4日には2011年の輸出額が2010年よりも約300百万ドル多い、2,200百万ドルとなる予測を発表した。
- (2) 1月18日、民間企業最高審議会(COSEP)のアダン・アグリー会長をはじめとする経済界代表は、オルテガ大統領との会合において、次期大統領選挙における国内外からの選挙監視団の参加を含む広範な政策提案を行った。
- (3) 1月27日、ニカラグア米国商業会議所(Amcham)は、執行役員全員の任期満了に伴う改選で、モリナ(Dr. Yali Molina)Molina&Asociados 中央法律事務所取締役を新会長に選出した。
- (4) 1月13日付ラ・プレサ紙によれば、2010年の国内自動車(新車)販売台数は前年比29%増の6,627台を記録した。2009年の販売台数は前年比(2008年は10,500台を記録)で約50%減少していた。
- (5) 2月15日、ロサレス総裁は、貸出金利の引き下げを目的として、民間銀行に対する預金準備率を本年4月4日より現行の16.25%から12%まで引き下げると発表した。同措置により、中銀預金準備高は539.5百万ドルから396百万ドルまで低下する見込み。
- (6) 2月16日、ロサレス中銀総裁は3月のIMFミッションの訪問に言及し、本年上半期に2011年国家予算の改正を行うことになると発言した。
- (7) 2月17日、労使間の最低賃金交渉が合意に至り、2011年は、2月に7%、8月に6%の年率13%の引き上げとなった。同決定を受け、平均最低賃金は月額132.00ドルとなった。
- (8) 2月18日、ニカラグア産フリホール豆の輸出規制が実施された。同規制はフリホール豆の生産減少を受け、国内での価格を抑制する措置として採られた。
- (9) 2月22日、サントス当国外相及びメナ・タボアダ当地チリ大使は、政府関係者及びニカラグアの民間企業関係者立ち会いの下、二国間の自由貿易協定(FTA)に署名した。また、外交団、領事団等の家族の就労を認める両国政府の合意文書にも署名した。
- (10) 2月22日、オルテガ大統領は、フランシスコ・マヨルガ元中銀総裁を大統領金融政策担当顧問として任命した。マヨルガ氏はチャモロ政権下で中銀総裁を務めた後、民間銀行の経営等に関わっていた。同氏はロサレス現中銀総裁の後任に就くとも噂されている。

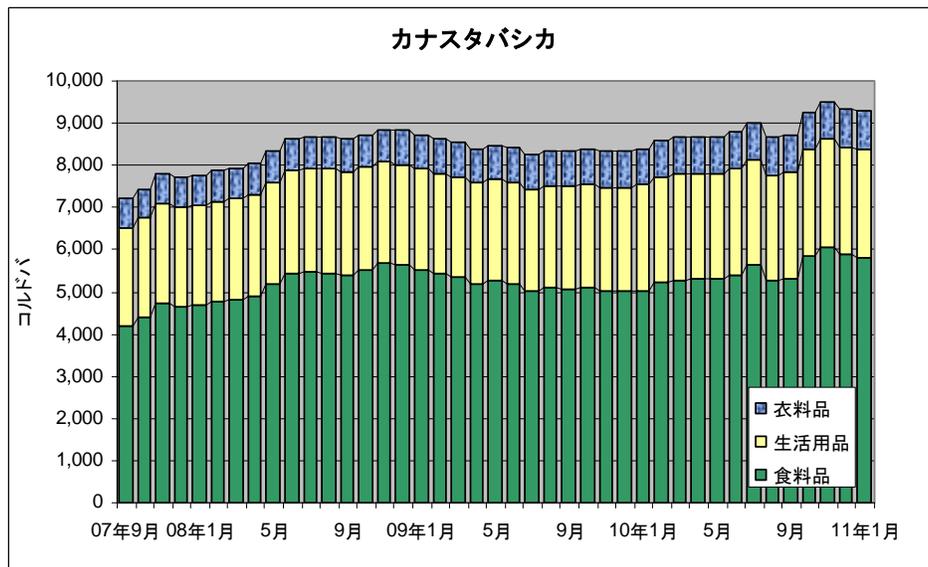
2. 主な経済指標

(1) 消費者物価指数

2011年2月の物価上昇率に関する中銀レポートによれば、同年1月の消費者物価指数(IPC)は-0.15%を記録した。これにより2011年1月までの過去12ヶ月平均物価上昇率は、8.02%となった。



(2) 基礎バスケット価格

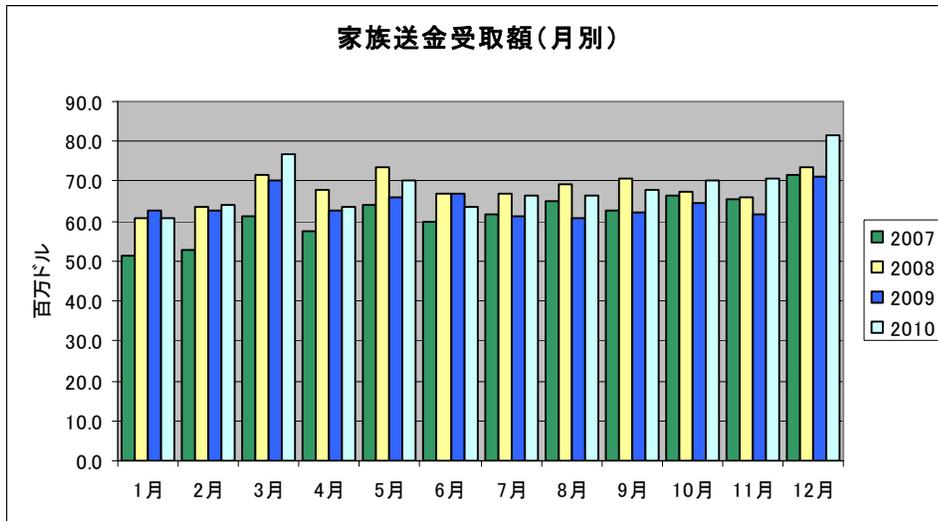


基礎バスケット(Canasta Básica): 1世帯(6名)が最低限の生活を維持するのに必要な1ヶ月の最低限生活必需基礎品目(計53品目、うち食料品23品目、生活用品15品目、衣料品15品目)の総額を、各月の物価に照らし合わせ算出したもの。

2011年1月の基礎バスケット価格は9,284.29コルドバ(食料品5,790.00コルドバ、生活用品2,574.65コルドバ、衣料品919.64コルドバ)であった。

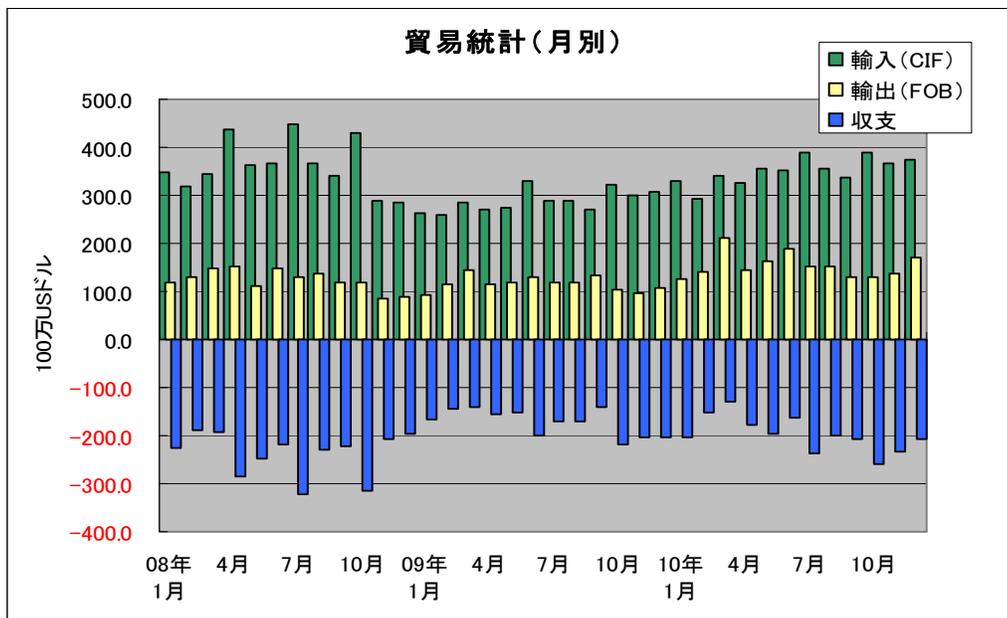
(3) 家族送金

2010年の家族送金総額は、2009年よりも54.4百万ドル多い、822.8百万ドルを記録した。



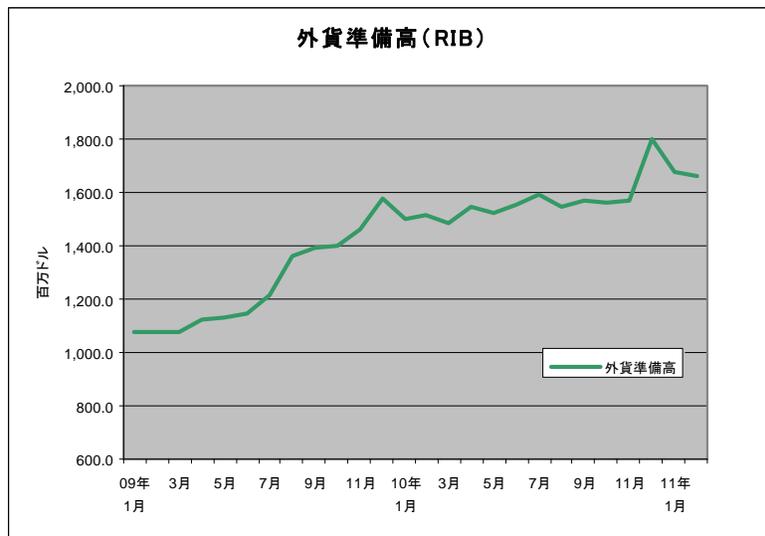
(4) 貿易統計

ニカラグアの2010年の輸出総額(FOB)は1,851.09百万ドル、輸入総額(CIF)は4,173.16百万ドルで、2,021.04百万ドルの貿易赤字を記録した。なお、2010年の輸出総額は前年比で32.64%増、輸入総額は前年比16.40%増となった。



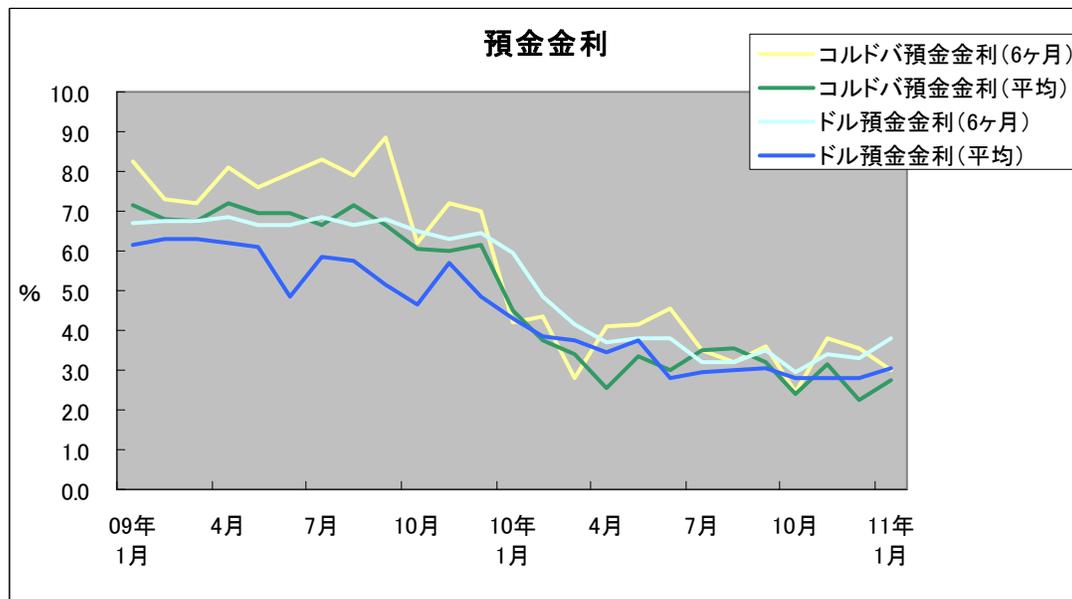
(5) 外貨準備高

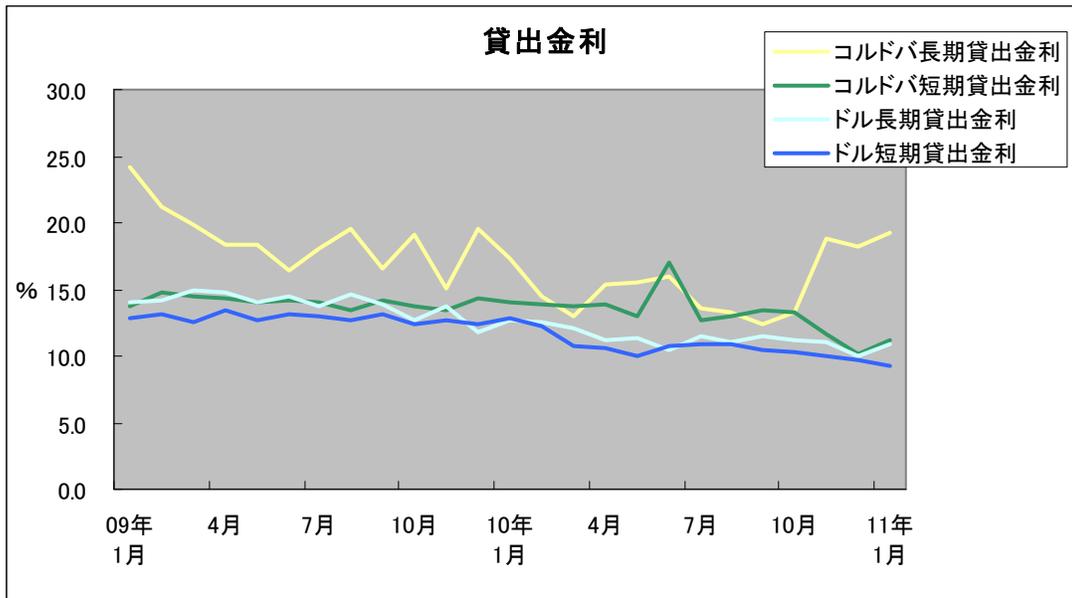
2011年1月の外貨準備高は1,680.2百万ドル、同2月は1,635百万ドルであった。



(6) 金利

2011年1月の短期貸出金利(コルドバ)は11.17%、同長期金利は19.32%であった。一方、2011年1月の短期貸出金利(ドル)の平均は9.29%、同長期金利は10.97%であった。





(7) 対外債務

2010年9月時点の対外債務残高は3,732.9百万ドルであった。また、同年第3四半期に金利10百万ドル、元金20.9百万ドルの計30.9百万ドルが支払われた。2010年12月時点の対外債務残高は3,874.74百万ドルであった。

(8) マネタリー・ベース

2010年1月20日時点のマネタリー・ベースは13,962.8百万コルドバ(約636.34百万ドル)であった。2月3日時点では15,226.3百万コルドバ(約692.66百万ドル)であった。

(9) GDP

2010年第3四半期のGDPは同年前期比で3.9%の成長率を記録した。

(10) 失業率

2010年の年間失業率は発表されておらず、現時点では2009年9月の失業率8.1%が最新値である。

(11) 為替(対米ドル)

2010年の対米ドル公式為替レート(年平均)は、1ドル=21.3564コルドバであった。なお、2011年1月31日時点の同レートは21.9734コルドバ、同年2月28日は22.0558コルドバであった。

(了)